

Wissenskanon:

## Orientierungsliste bis zur Magisterprüfung bei Wahl des Schwerpunktes Literatur

### I. Wichtige Personen

#### A. Von den Anfängen bis 1600:

足利尊氏、在原業平、織田信長、小野小町、柿本人麿、鴨長明、紀貫之、空海/弘法大師、楠正成、後醍醐天皇、西行、最澄/伝教大師、聖徳太子、聖武天皇、神武天皇、親鸞、菅原孝標女、菅原道真/天神様、世阿弥、清少納言、道元、豊巨秀吉、日蓮、藤原定家、藤原道綱の母、藤原道長、北条政子、法然、源義経、源頼朝、紫式部、山上憶良、吉田兼好。

#### B. Von 1600 bis 1868:

(安藤)広重、井原西鶴、上田秋成、大塩平八郎、(葛飾)北斎、賀茂真淵、歌麿、佐久間象山、橘曙覧、近松門左衛門、徳川家康、徳川吉宗、徳川慶喜、二宮尊徳、平田篤胤、松尾芭蕉、本居宣長、与謝蕪村、吉田松陰。

#### C. Von 1868 bis 1945:

芥川龍之介、荒畑寒村、有島武郎、石川啄木、石本(加藤)シヅエ、板垣退助、伊藤野枝、伊藤博文、岩倉具視、岩波茂雄、巖本善治、植木枝盛、内村鑑三、江戸川乱歩、大久保利通、大隈重信、大杉栄、岡倉天心(覚三)、賀川豊彦、桂太郎、加藤弘之、金子文子、菅野須賀子、河上肇、川端康成、北一輝、北村透谷、木下尚江、国木田独歩、幸徳秋水、近衛文麿、小林多喜二、西園寺公望、西郷隆盛、堺利彦、佐多稲子、志賀直哉、島崎藤村、昭和天皇(裕仁)、高村光太郎、高群逸枝、太宰治、田中正造、谷崎潤一郎、田山花袋、坪内逍遙、東条英機、徳富蘇峯、徳富蘆花、永井荷風、中江兆民、中野重治、夏目漱石、乃木希典、萩原朔太郎、原敬、樋口一葉、平塚らいてう、福沢諭吉、福田(景山)英子、二葉亭四迷、正岡子規、美濃部達吉、宮崎滔天、宮本百合子、明治天皇(睦仁)、森鷗外、武者小路実篤、柳田国男、与謝野晶子、与謝野鉄幹、吉川英治、吉野作造。

#### D. Von 1945 bis 1989 (Nachkriegsautor/innen etc., die bereits vor 1945 aktiv waren, werden nicht einmal genannt):

安部公房、家永三郎、石牟礼道子、井上靖、井伏鱒二、色川大吉、円地文子、遠藤周作、大江健三郎、大岡昇平、大庭みな子、小田実、小津安次郎、開高健、加藤周一、岸信介、黒沢明、小泉純一郎、小西甚一、田中角栄、俵万智、鶴見俊輔、手塚治虫、遠山茂樹、中上健次、中曾根康弘、鳩山一郎、久松潜一、前田愛、松本清張、丸山真男、三島由紀夫、美空ひばり、村上春樹、吉田茂、吉本ばなな。

**E. Westliche Ausländer, deren Namen mit Japan verbunden ist (nur bereits Verstorbene):**

William G. Aston, Erwin Bälz, Oscar Benl, Jürgen Berndt, Gustave Emile Boissonade, Basil Hall Chamberlain, William Smith Clark, Ernest F. Fenlosa, Karl Florenz, Hermann Gundert, Horst Hammitzsch, Townsend Harris, Lafcadio Hearn, James Curtis Hepburn, Engelbert Kämpfer, Raphael von Koeber, Douglas MacArthur, Edward S. Morse, Herbert Norman, Matthew C. Perry, August Pfizmaier, Edwin O. Reischauer, João Rodrigues, Sir Earnest Satow, Philipp Franz von Siebold, Siegfried Schaarschmidt, Richard Sorge, Arthur Waley, Francisco de Xavier.

**F. Chinesen, deren Name mit japanischer Literatur oder Geschichte verbunden ist (historische Reihenfolge; Pinyin-Umschrift; \* kennzeichnet eine bei uns übliche abweichende Namensform/Umschrift):**

孔子	Kongzi (*Konfuzius)、	孟子	Mengzi (*Menzius)、
老子	Laozi (*Lao Tse)、	莊氏	Zhuangzi、
司馬遷	Sima Qian (*Sze-ma Ch'ien)、	陶淵明	Tao Yuanming、
杜甫	Du Fu (*Tu Fu)、	李白(李太白)	Li Bo (*Li Bai, *Li Taibo)、
白樂天(白居易)	Bo Letian (*Po Chü-i, *Bo Juyi, *Bai Juyi)、		
朱子(朱熹)	Zhuzi (*Chu Hsi)、	王陽明	Wang Yangming、
孫文(孫逸仙)	Sun wen (*Sun Yat-sen)、	魯迅	Lu Xun (*Lu Hsün)、
蔣介石	Jiang Jieshi (*Chiang Kai-shek)、	毛澤東	Mao Zedong (*Mao Tse-tung)。

## II. Wichtige Begriffe der japanischen Geschichte und Literatur (auch Titel anonymer bzw. kollektiver Werke) nach Zeitaltern geordnet, jeweils zunächst Begriffe aus dem Bereich Geschichte, danach aus dem Bereich Kultur.

### A. Von den Anfängen bis 1600:

縄文時代、弥生時代、大和、古墳、古代、天皇、百濟、新羅、仏教伝来、飛鳥時代、十七条憲法、大化の改新、律令、唐、遣唐使、奈良、太宰府、法隆寺、正倉院、伊勢神宮、出雲大社、平安、京都、近畿、摂政、関白、莊園、院政、宋、元、平家、源氏、源平、武家、武士、鎌倉時代、鎌倉幕府、中世、封建制度、将軍、守護、執権、元寇、神風、建武親政、南北朝、吉野、室町時代、室町幕府、下剋上、応仁の乱、一向一揆、戦国時代、町、キリシタン、城下町、刀狩り、太閤検地、文禄・慶長の役、関ヶ原の戦い、

古事記、日本書紀、六国史、風土記、万葉集、古今和歌集、古今集、新古今集、百人一首、歌、和歌、短歌、長歌、歌人、私歌集、勅撰集、枕詞、掛け言葉、歌枕、いろは、歌合、漢詩、漢文、和文、物語、歌物語、作り物語、竹取物語、伊勢物語、かげろう日記、源氏物語、更級日記、女流文学、もののあはれ、栄華物語、今昔物語、堤中納言物語、歴史物語、軍記物語、平家物語、大和絵、絵巻、説話、和漢混淆文、琵琶法師、無常、語り物、道行、方丈記、天台宗、真言宗、比叡山、高野山、出家、小乗、大乘、仏、釈迦、菩薩、阿弥陀仏、観音菩薩、浄土、念仏、曼陀羅、末法、妙法蓮華経、般若心経、大蔵経、浄土宗、浄土真宗、嘆異抄、往生伝、本願寺、禅宗、臨済宗、曹洞宗、坐禅、公案、日蓮宗、とはずがたり、徒然草、太平記、五山文学、水墨画、北山文化、金閣寺、東山文化、雅楽、神楽、猿楽、田楽、能、謡曲、狂言、連歌、御伽草子。

### B. Von 1600 bis 1868:

近世、江戸時代、大阪の陣、島原の乱、キリシタン禁制、踏絵、隠れキリシタン、鎖国、幕府、幕藩制度、上方、関東、三都、身分社会、士農工商、エタ、非人、町人、僧尼、公家、大名、旗本、侍、足軽、郷土、家老、石高、参勤交代、屋敷、親藩、譜代藩、外様藩、御三家、街道、東海道、中山道、東照宮、老中、大老、町奉行、寺社奉行、檀家制度、五人組、蝦夷地、琉球王国、明朝、清朝、李朝、元禄時代、享保の改革、藩校、寺子屋、寛政の改革、化政文化、百姓、名主、年貢、百姓一揆、天保の改革、蛮社の獄、東洋の道徳・西洋の芸術、和魂洋才、黒船、尊王攘夷、海防論、倒幕論、佐幕論、開国論、公武合体論、東洋の道徳・西洋の技術、和魂洋才、志士、安政五ヶ国条約、桜田門外の変、不平等条約、治外法権、関税自主権、薩長同盟、ええじゃないか、大政奉還、

仮名草子、活字版、キリシタン版、整版、本屋、貸本屋、名所記、浮世草子、好色物

武家物、町人物、浄瑠璃、文楽、義太夫、三味線、心中、忠臣蔵、歌舞伎、遊郭、吉原、遊女、俳諧、俳文、発句、俳句、俳画、俳人、季語、さび、軽み、花鳥風月、儒学、朱子学、五常、忠孝、四書、五経、陽明学、古学、蘭学、洋学、出島、心学、武士道、葉隠、水戸学、文人、文人画、随筆、紀行文、国学、浮世絵、錦絵、戯作、洒落本、黄表紙、粹、意気、通、読本、水滸伝、西遊記、勸善懲惡、川柳、小咄、落語、講談、滑稽本、人情本、合巻、伝記、往来物、口承文芸、民話、昔話、民謡。

### C. Von 1868 bis 1945:

近代、明治維新、王政復古、堺事件、五か条の御誓文、戊申戦争、廃藩置県、富国強兵、立身出世、地祖改正、不在地主、小作人、徴兵令、学制、四民平等、華族、士族、平民、神仏分離、廃仏毀釈、国家神道、教派神道、靖国神社、天理教、宣教師、北海道、アイヌ、琉球処分、征韓論、民選議院健白、西南戦争、自由民権運動、自由党、改進黨、豪農、秩父事件、大阪事件、条約改正、元老院、大日本帝国憲法、教育勅語、不敬事件、君が代、天長節、万世一系、国体、天皇制、民友社、日本婦人矯風会、廃娼論、良妻賢母、日清戦争、下関条約、三国干渉、台湾総督府、黄禍論、国粹主義、義和団の乱、北清事変、治安警察法、政友会、足尾事件、社会民主党、平民社、反戦論、日露戦争、ポーツマス条約、日比谷焼き打ち事件、無政府主義、マルクス主義、赤旗事件、大逆事件、韓国合併、朝鮮総督府、冬の時代、申亥革命、友愛会、護憲運動、大正政変、大正デモクラシー、第一次世界大戦、対華二十一カ条要求、民本主義、ロシア革命、国際連盟、三・一運動、五・四運動、シベリア出兵、米騒動、赤瀾会、新人会、水平社、部落民、日本労働総同盟、共産党、関東大震災、女工哀史、労農党、農本主義、アジア主義、国家主義、治安維持法、普通選挙制、満州変事、満州国、満鉄、関東軍、国際連盟脱退、天皇機械説、特高、二・二六事件、戒厳令、日中戦争、南京虐殺、国家総動員法、真珠湾攻撃、第二次世界大戦、大東亞戦争、太平洋戦争、十五年戦争、日独伊三国同盟、枢軸国、紀元 2600 年祭、大東亞共栄圏、大政翼賛会、ファシズム、超国家主義、軍国主義、大和魂、東京大空襲、特攻隊、玉砕、一億玉砕、原爆投下、ポツダム宣言受諾、玉音放送、

文明開化、欧化主義、明六社、鹿鳴館、開化期戯作、政治小説、言文一致、新体詩、叙情詩、文学、文藝、国文学、児童文学、通俗文学、浪華節、御伽話、短篇小説、長篇小説、連載小説、慶応義塾、東京帝国大学、東京専門学校/早稲田大学、札幌農学校、同志社、明治女学校、小学校、中学校、高等学校、一高、洋画、日本画、文展、写生文、自然主義、私小説、反自然主義、耽美派、象徴詩、口語自由詩、白樺派、新しき村、民芸運動、同人雑誌、総合雑誌、新劇、戯曲、大衆文化、時代小説、探偵小説、円本、講談社、岩波書店、岩波文庫、岩波新書、童話、労働文学、プロレタリア文学、新感覚派、転向、国体の本義、近代の超克、日本文学報国会。

**Zeitungen & Zeitschriften:**

明六雑誌、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、女学雑誌、史学雑誌、国民之友、文学界、太陽、中央公論、ほととぎす、明星、早稲田文学、平民新聞、スバル、白樺、青鞞、赤い鳥、改造、キング、種蒔く人、文芸戦線(文戦)、戦旗、赤旗、文芸春秋。

**D. Von 1945 bis 1989:**

現代、戦後、GHQ、占領時代、一億総懺悔、日本国憲法、憲法第九条、天皇の人間宣言、六・三・三・四制、男女共学、男女平等、婦人参政権、農地改革、財閥解体、東京裁判、きけわだつみのこえ、レッド・ページ、朝鮮戦争、松川事件、日米安保条約、安保闘争、ビキニ水爆実験、原水禁、三池争議、自衛隊、沖縄反還、北方領土、日中国交回復、高度成長、自由民主党/自民党、社会党、民社党、公明党、民主党、創価学会、新興宗教、学生運動、全学連、ベトナム戦争、ベ平連、在日韓国人、教科書問題、東京オリンピック、公害問題、水俣病、オイルショック、細川内閣、小泉内閣、

原爆文学、推理小説、私小説、歌謡曲、演歌、流行歌、テレビドラマ、漫画、劇画、少女漫画、SF、記録文学、ノンフィクション、芥川賞、直木賞、文化勲章、近代文学館、国文学研究資料館。

**Zeitungen & Zeitschriften:**

世界、文学、思想、群像、国文学解釈と教材の研究、日本近代文学、日本文学、社会文学。

## 日本語に関する語彙

Die folgende Vokabelliste soll einerseits ein Gespräch mit JapanerInnen in Japanisch über sprachliche Probleme ermöglichen (innerhalb und außerhalb des Sprachunterrichtes), andererseits auch den effektiven Gebrauch eines *Kokugo jiten* erleichtern. Ohne den Gebrauch eines *Kokugo jiten* sind anspruchsvolle japanische Texte nicht zu lesen!

言語、言葉、言語学、語学、母国語、国語、標準語、共通語、方言、東京語、東北弁、関西弁、文語、口語、書き言葉、話し言葉、外国語。

語彙、単語、漢語、和語、やまとことば、俗語、専門用語、敬語、丁寧語、尊敬語、謙讓語、流行語、幼児語、外来語、類義語 (類語)、対義語 (反対語)、熟語。

文法、品詞、動詞、自動詞、他動詞、形容詞、形容動詞、名詞、固有名詞、形式名詞、代名詞、数詞、副詞、接続詞、感動詞、連体詞、連語、助動詞、助詞 (係助詞、格助詞、間投助詞、終助詞、接続助詞、副助詞)、接頭語、接尾語、活用、活用語、活用表、体言、用言。

四段活用 (五段活用)、上一段、下一段、上二段、下二段、ラ変、サ変、カ変、ナ変、ク活用、シク活用、未然形、連用形、終止形、連体形、已然形 (仮定形)、命令形、現在、過去、未来、回想、伝聞、完了、存続、推定、受身、迷惑の受身、可能、尊敬、自発、否定、希望、断定、意志、推量、使役、打ち消し。

音韻、音韻学、母音、子音、長母音、短母音、発音、音便、促音、拗音、音節、清音、濁音、半濁音、アクセント。

文字、表記、表音文字、表意文字、漢字、読み方、音読み、訓読み、熟語読み、当て字、国字、漢音、呉音、唐音、当用漢字、常用漢字、教育漢字、数字、楷書、行書、草書、書道、習字、活字、ローマ字、ヘボン式、訓令式。

仮名、万葉仮名、平仮名、片仮名、振り仮名、送り仮名、変体仮名、五十音図、いろは、濁り点、濁点、綴り、仮名使い、歴史的仮名使い、旧仮名使い、現代仮名使い。

文、文節、句読点、句点、読点、主語、述語、修飾語、段落、文章、文体、表現、文脈、コンテキスト、文型、疑問文、否定文、肯定文、感嘆文、連体修飾文、名詞止め、係結

び。

漢文、訓読、白文、返り点、読み下し文、和文、古文、和漢混交文、普通文、雅文、候文、言文一致体、口語文。

日本語、沖縄語、琉球語、アイヌ語、中国語、朝鮮語、韓国語、アルタイ語族、インド・ヨーロッパ語族、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、オランダ語、辞書、辞典、事典、字典、字引、漢和、中和、独和、和独、和韓、和英、和仏、和西、和蘭、見出し語、定義、略語、記号、凡例、索引、部首、字画、画数、五十音順、ABC順、用例、例文、通例、例外、国語辞典、百科事典。

翻訳、訳語、訳文、邦訳、重訳、共訳、誤訳、直訳、意識、翻訳家、訳者、和文独訳、独文和訳、通訳、同時通訳、逐次通訳。

授業、会話、学習、練習、練習問題、復習、予習、聴解、聞き取り、読解、聴解力、読解力、読書、意味、概念、理解、解釈、説明、難解、宿題、試験、聞き取り、採点、準備、レポート、朗読、コミュニケーション。